

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号： 1-7

局・課名： 建設局・河川水路課

事業名	内川排水機場維持管理	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額
			135,731	149,124	123,623
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)
	内川水系には、台風や地震などの高潮被害を防ぐための防潮水門がある。この水門を閉鎖した時の降雨により河川水が溢水することを防ぐためのポンプ施設を、常に運転できる状態に維持することを目的とする。		H ~ H		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)			
	内川排水機場は、昭和60年度に設置された河川管理施設であり、ポンプ施設としてφ1650mm×2台、φ1000mm×1台があり、河川からの導水路設備としては、除塵機やスクリーン等がある。また、これらの設備の制御等を行うための電気設備や平時、停電時を問わず排水ポンプ運転を可能とするための発電設備などもある。 排水ポンプを常に運転できる状態に保つために、年点検1回、月点検6回の保守点検業務を行う。また、その機器が故障しているとポンプ排水が出来ない致命的機器と故障しても排水ポンプが運転できる非致命的機器に区分し、致命的機器は予防保全(故障等する前に整備、更新する)を行う。非致命的機器については、事後保全(故障等したのちに修繕等する)にて対応する。 なお、平成29年度については、設備更新整備工事、施設運転監視点検業務等を行う。	項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等
		ポンプ施設点検業務	6,024	7,600	
		設備更新整備工事	79,000	63,000	エンジン、減速器
		施設運転監視点検業務等	55,200	48,963	(枠)
		その他(光熱水費、修繕料等)	8,900	1,450	(枠)
		光熱水費		2,610	
	【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)			
主たる電気設備は概ね完了し、平成29年度からは、機械設備の整備を行う。機械設備については、経済的期待寿命40年を設定している。故障発生率を低減させる為の分解整備工事を行い、更新時期を迎えるまで使用する。また、今回の整備は、軽微な故障が多く発生している、3号エンジンと3号減速機を整備する。	経過(～28年度)	【29年度】	【今後予定(30年度～)】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・H22年度長寿命化計画策定 ・H25～28年度高圧盤7面更新 ・H26～27年度ポンプ補助継電器盤5面更新 ・H27年度発電機用発動機の整備 ・H28年度ポンプ用低圧配電盤更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・3号排水ポンプ用原動機整備 ・3号ポンプ用減速機整備 	平成30～32年 ポンプ施設 予防保全(更新・整備)		
その他 特記事項					
関連事業： 施設設置後約45年後(平成42年頃)から設備・施設全体の改修工事が必要。					

整理番号： 19 - 3 - 0520